

本校は昭和22年4月に設置され、本年度78年目を迎える歴史と伝統のある中学校である。また、人権尊重教育推進校として長きにわたる実践を積み重ねており、区のみならず都下においてあるいは全国的にも大きな特色のある学校である。昨年度は人権教育の取組において、文部科学大臣優秀教職員賞を受けるなど成果を認めていただいている。新校舎は7年目を迎え、恵まれた教育環境の中教育活動を行っている。本年度は4月1日の時点で新入生が82名、2年生110名、3年生90名、計282名で、通常学校9学級、特別支援学級3学級の編成である。昨年度は、目指す学校づくり、目指す学校経営の充実期から完成期への転換の年と捉えて学校経営を行ってきたが、本年度はさらに飛躍の年と定め、発展期としたい。そこで、次の内容に注力する。まず、本校で脈々と受け継がれてきたよき伝統を守ると共に、デジタル社会の到来による新しい時代の中で、教育の変化を敏感に捉える。学校教育の「不易流行」を熟慮しつつ、教師も生徒も「**楽しく主体的に学び、学校全体に『学ぶ意志』がみなぎる学校**」を実現する。そして保護者も地域も巻き込んだ学びの場を創造し、生徒たちが本校での出会いに感謝することができ「ここで学べてよかった」と実感し、保護者も「通わせてよかった」と実感できる学校づくりを行う。

昨年度の反省を踏まえつつ、国際状況や日本の社会状況や経済状況の変化に目を向け、また価値観の多様化も考慮しながら、学校教育が果たす役割の重要性を問い直し、周囲からの高まる期待に答えていく。本校では、子供たちが夢や希望をもち、よりよい社会に貢献し、担い手として成長するような学校教育を目指す。そのためにはカリキュラム・マネジメントに力を入れ、生徒が確かな学力と、困難にも対応できるレジリエンスを身に付け、心身ともに毎日元気で楽しい学校生活を送ることができるよう、教職員が一丸となった教育活動を進める。特に今年度は学習面では「読み解く力」「発信する力」に、生活面では不登校の解消、体力面では持久力・投力の向上に重点をおき教育計画を立てる。そして、このような学校の取組が、しっかりと保護者、地域の皆様に伝わるように、印刷物だけではなくホームページの充実や校外へ積極的に足を運んでの広報活動に力を入れる。それによって学校教育への理解、安心感につなげていく。

同時に令和6・7年度東京都人権尊重教育推進校としての1年次の取組と、学力向上を中心とした教育活動及び校務運営の推進に力を注いでいく。そのために昨年度新設した経営支援部の業務内容を再考し、共同事務室、本校事務室との連携を強化する。さらに、働き方改革も考えつつ部活動の地域移行と部活動指導員の導入をそれぞれ一つずつの部活で行う。残業時間の管理等も含め、教職員のライフ・ワーク・バランスが保てるようにする。

## 1 基本方針

### <学校教育目標>

○自ら学び、正しい判断のできる生徒

(自ら進んで学習に取り組み、よく考え、判断して行動することができる生徒を育てる)

○思いやりのある生徒

(人と協力し、何事にも一生懸命になり、人間関係が上手に築ける生徒を育てる)

○心身ともに健康な生徒

(自らの健康管理ができ、自分自身を大切にしながら、体力向上に取り組む生徒を育てる)

上記学校教育目標の達成並びに指導方針の具現化に向けて、全教職員が一丸となって、学校・家庭・地域社会・関係機関との連携を重視した計画的で組織的な教育活動を積極的に展開する。

### <目指す学校の姿>

「楽しく主体的に学び、学校全体に『学ぶ意志』がみなぎる学校」及び「保護者・地域から信頼される学校」

- 「学力向上」 確かな学力の定着と向上を目指す学校  
(読み解く力と発信する力の育成、及び深い学びの実践)
- 「気力向上」・「体力向上」 豊かな心と健康な身体を育む学校  
(心の教育・体力向上及び健康教育の充実)
- 「家庭・地域連携」 保護者や地域の信頼に応える学校  
(学校マネジメントを生かし開かれた学校づくりの推進)

生徒が毎日休まずに元気よく通学し、笑顔と活気あふれる教育活動が展開されてこそ、学校としての存在意義がある。「目指す学校」は、教職員集団が緊密に連携・協力して日々の教育活動にあたるとともに、保護者や地域住民が学校に信頼を寄せて教育活動に協力・支援することで、学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てようとしている学校である。本校に通う全ての生徒が、教職員の指導によって自信と意欲をもち生き生きと毎日の学校生活を送り、その姿が保護者や家庭・地域に伝わり信頼される学校へとつながっていくものと考えている。さらに、区立学校として、教育施策の着実な実現により、行政からの信頼にも応える学校としたい。広報活動を充実させることによって、理解と信頼を実現する。

### <目指す生徒の姿>

- 学ぶ意志をもち、「読み解く力」「発信する力」を大切にして主体的に学ぶ生徒(知)
  - 規範意識を身に付け、人権を尊重し、交流活動をとおして伝え合い高め合う心豊かな生徒(徳)
  - 心身ともに健康で体力向上に努め、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒(体)
- 「学力向上」「気力向上」「体力向上」 義務教育後期3年間の中学校における教育の成果として、卒業時点で変化の激しい国際社会の中で、社会人として他へ貢献できる規範意識や人間性、社会性並びに確かな学力、健康な心身「徳・知・体」をバランスよく身に付けた人間の育成を目指す。

### <目指す教師の姿>

- 子供が好きで教えることを誇りとし、一人一人の生徒に目を向けて慈しみ育てる教師(慈愛)
- 日々学び続け高い見識と豊富な知識を有し、自らの指導力を高めようと努力する教師(研鑽)
- 教育公務員としての自覚と責任の上に、教育DXに対応し、令和の日本型教育を推進することができ、自己の資質向上のための研修に励む教師(授業力)

校長の人材育成の中心に「主体的に学ぶ教師の育成」を掲げる。教師の熱心な指導によって日々の学習において「分かるようになった」「できるようになった」「さらに知りたい」等、生徒に学ぶ楽しさや成就感や達成感を感じさせる。毎日登校することが楽しい学校を目指す教師集団とする。

そのためには、吾嬭第二中学校に勤務するすべての教職員が高い見識とたゆまぬ研修意欲をもち、心をつなげて個々の生徒に目を向け、声をかけ、厳しさの中にも愛情に満ちて指導にあたるのが大切である。また、育児休業や年次休暇の取得、土日の適切な部活動など、ライフ・ワーク・バランスに考慮した働き方改革を進め、心身ともに健康な教職員による活力ある質の高い教育を確保する。そのために区のガイドラインに従って残業時間の管理も行う。

校長として、教職員が意欲的に教育活動に取り組むための教育諸条件の整備に努め、保護者並びに地域関係者等の理解と協力・支援によって、家庭・地域に信頼される活気あふれる学校を実現することに尽力し、学校教育目標の達成を目指す。

## 2 今年度の重点目標と具体的方策

### (1) 確かな学力の定着と向上を目指す学校（学力向上マネジメント推進校（未定））としての取組

- ①各教科における基礎・基本の定着と学力の向上と主体的・対話的な学びの実践
  - 各教科の目標とする資質・能力の育成に努め、「できる」を実感させる指導の工夫と改善
  - 新学習指導要領の趣旨に基づいた「令和の日本型教育」の推進による、「協働的な学び」「指導の個別化」「学習の個性化」を軸とした授業改善
  - 「分かる」・「できた」の実感と「さらに知りたい」という向上心を引き出す指導の工夫と改善
  - 「ねらい」の明確化と「振り返り」を意識した学習内容の定着（吾婦二中プロシージャの確実な実施）（Leave No One Behind.の精神）
  - 計画的な家庭学習課題等の提示とタブレットの活用、丁寧なケアによる家庭学習習慣の確立（定期考査3週間前からの準備）
  - 「年間学習計画」を生徒保護者に示し、主体的に、自分の学びを調整しつつ、粘り強く学習に取り組む生徒の育成
  - 朝読書の充実や学校図書館の活用、生徒の交流時間を設定した指導等言語活動の充実
  - 生活に関する「質問紙」や「個人学習プロフィール」を活用したきめ細かな分析による指導
  - GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末（iPad）、デジタル教材、ICT機器等、様々な教育機器やアプリなどを活用した指導方法の工夫と充実
  - プログラミング教育の充実
  - 墨田区、東京都、国が実施する学力・学習状況調査のデータや「学力のR P D C Aサイクル」による適切な授業評価を活用した指導方法と評価方法の改善
  - 放課後の「吾二塾」「実力アップ講座」を活用した基礎・基本の定着
  - 学校支援員を効果的に活用した、問題演習の量的確保ときめ細かな指導の充実
  - 漢字検定や英語検定、数学検定を利用した学習における挑戦する力や達成感・成就感の醸成
  - 授業の中でホワイトボードや意見交流ソフト（ロイロノートなど）を活用した交流場面の設定により主体的・対話的な学びを実現し、「伝え合い、高め合う学習」を推進
  - 教師の授業力向上のための教育DXに対応した授業の実施や各種研修への積極的な参加
- ②生徒の夢を育むキャリア教育と進路指導の充実のために
  - 入学から卒業までの義務教育後期3年間を見通した計画的・系統的な進路指導の展開（「夢ノート」・「マンダラート」・「キャリアパスポート」）
  - 職場体験等各種の体験学習を活用した職業観・勤労観の育成
  - 地域住民や関係機関との連携による外部人材を活用したキャリア教育と人権教育の充実
  - 総合的な学習の時間の趣旨を活かした教科と連携した課題発見学習や課題解決学習、調べ学習による主体的に学習する指導の充実
  - 墨田区教育委員会学校支援ネットワーク事業を活用した外部人材活用の充実

### (2) 豊かな心を育み体力の向上を目指す学校

- ①吾婦二中生としての所属感・連帯感をもたせる指導の推進のために
  - あらゆる偏見や差別をなくすための人権教育の徹底と全教育活動での人権尊重教育の推進
  - 人権教育プログラム等を活用した人権教育や特別の教科「道徳」などの計画的な指導
  - 人権教育の充実と自尊感情や自己肯定感を高める指導を関連づけた教育活動の推進
  - 人権教育や道徳教育、性教育の全体計画に基づいた学年経営・学級経営の充実
  - 「挨拶・返事・靴をそろえる・時間を守る」の徹底（家庭と協力）と毎朝の挨拶活動の活性化
  - 所属感や連帯感を育むための学校行事や連合行事の企画・運営や取組・参加
  - 保育園、認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校、民族学校等との連携・交流による豊かな心の育成

## ②一人一人に目を向けた生徒指導の充実のために

- 「Leave No One Behind」の精神を共有し、スピードとチームワークを大事にする生徒指導
- 全教職員による基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上のための生徒会活動の推進
- 基本的な礼儀やマナー及び正しい言葉遣いを身に付けさせるための声かけ
- 家庭との連携による生徒理解の充実と悩みやつまずき、学習支援への個別対応
- いじめや不登校などの問題行動の未然防止及び早期発見・早期解決のための情報の収集及び共有と迅速な対応（連続3日欠席者への対応と7日以上欠席した生徒の家庭訪問）
- 不登校担当職員やASルームの効果的な運用による、組織的な不登校事案の解消
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による指導の充実
- 特別支援教室の活用による個に応じた生徒支援の充実
- いじめ防止プログラムに基づいてのいじめ防止授業の実施等、いじめの未然防止及び早期発見・早期解決に向けた組織的な対応の推進
- インターネット及びSNS利用等の情報モラルに関わる指導・啓発の充実
- 「かけがえのない命」を大切にし、困難を乗り越えるレジリエンスを身に付ける心の育成
- ゲートキーパーの視点を取り入れた教員のカウンセリング力の向上
- 生徒自らが人権感覚を磨く取組

## ③体力向上及び健康教育・安全教育の充実のために

- 校内マラソンや縄跳び運動の実施など持久力・投力を中心とした、体力向上に向けた意図的・組織的な取組の推進
- 週番活動を活用した登校時の生徒への声かけと健康観察及び状況確認(シャボテンログ活用)
- 毎時間の出欠席や遅刻・早退等の確認による生徒状況の把握
- 朝礼や学年・学級指導、セーフティ教室等を活用した安全に対する指導の徹底
- 安全プログラムの活用と、計画的・組織的な安全指導や避難訓練等による防災教育の徹底
- 保健だより、相談室だよりなどを活用した「心と体の健康づくり」の推進
- 給食指導等を通しての意図的・計画的な「食育」指導の実施
- 食物アレルギー対応委員会による食物アレルギーの共通理解と組織的な事故防止体制の構築
- 薬物乱用防止教室や普通救命救急講習の実施による健康指導の充実
- 人権教育と共に取り組むオリンピック・パラリンピック教育の推進（レガシーの共有）
- 生徒一人一人の状況を把握したがん教育の推進

## ④学校生活を豊かにする活動の充実のために

- ルールやマナー、社会性等の育成を意識した計画的な集団行動や宿泊行事等の企画・運営
- 校則改定等、生徒の自主性の育成を目指した生徒会活動の活性化と、関係小学校との連携
- 上級生と下級生の関わりを通じた人間性の育成を目指す、委員会活動や部活動の推進
- 生徒の活躍の場を意識した各種コンクールや連合行事・区民大会等への積極的な参加
- 生徒の主体性を伸ばす場としての、生徒会朝礼やボランティア活動の設定

## (3) 保護者・地域住民の信頼と期待に応える学校

### ①地域力を活用し、家庭・地域と一体になった教育を推進するために

- 学年通信や学校だより、ホームページによる保護者が理解しやすい教育活動の周知の工夫
- 学校行事や土曜授業の取組を通しての積極的な学校の公開
- 情報発信のためのホームページ、学年通信・学校だよりの充実と学校連絡情報メールの活用
- 八広小学校・八広幼稚園・近隣保育園との連携を軸とした幼保小中一貫教育推進事業の推進
- PTA、学校運営連絡協議会、青少年育成委員会、地元町会等との連携・協力の充実と開かれた学校づくりの推進

○R P D C Aサイクルによる適切な学校評価の実施と学校運営の改善

②安全・安心な学習環境・生活環境づくりのために

- 様々な感染症に対する状況に応じた予防対策の実施（生徒自らの主体的な行動）
- 校舎内外の清掃美化や整理整頓の徹底及び掲示板の工夫と「花から笑顔」の合い言葉による環境教育、E S Dの実践
- 3 Rを意識した物を大切にす指導（E S Dの実践）
- 施設設備や備品の有効活用と管理保全の徹底
- 安全・安心な学習環境・生活環境維持のための施設設備の整備
- カーボン・ハーフ活動、電気・水道等の使用量や温室効果ガス排出の削減に向けた計画的な省エネルギーのための取組等の環境教育の推進 SDG s の取組と推進（E S Dの実践）
- 特色ある校舎環境を生かして、生徒の安全を意識した環境整備と指導

(4) 生徒のよりよい成長を願い、高い志と向上心をもって教育活動にあたるために

①学校運営のさらなる組織化と校務改善の工夫・実現

- 先を見通した組織的な学校運営とP D C Aサイクルを意識した職務遂行
- 校務支援システムの活用による情報共有の効率化と、日常的な報告・連絡・相談の徹底
- 起案システムの理解と徹底等による校務改善で生徒と触れ合う時間を確保
- 校務部業務内容の改編と、働き方改革を意識した校務運営の実現

②教育公務員としての意識をもった職務の遂行

- 親睦を深め、悩みを共有し、楽しく向上心をもって職務に取り組む職場の実現
- 教育公務員として使命感と倫理観に基づくサービスの厳正の徹底と、計画的な服務事故防止研修
- 組織的なOJTの取り組み
  - ・校長の育成方針のもと、副校長、主幹教諭、主任教諭による経験年数4年以下の教諭への人材育成を計画的及び組織的に実施
  - ・若手への人材育成と同時に、相互に学ぶことでの主幹教諭、主任教諭のスキルアップ
- 自身の資質向上並びに授業力の向上を目指したたゆまぬ自己研鑽
  - ・指導教諭の模範授業等を参観し授業力を向上（プロとして結果を出す意識）
- 学校生活における、生徒の心のケアと学習補充
- 生徒の安全で安心な学校生活のための安全管理・情報管理の徹底
- 分掌や役割、立場を超えた全教職員一丸となった教育活動の推進

③ライフ・ワーク・バランスを考慮した学校教職員の働き方改革

- 分掌再編やデータの適切な管理による仕事の整理と効率化（一人イチアイデア）
- 残業時間の可視化による勤務時間や仕事の効率化についての自己管理、及び組織的管理
- 育児時間等を含めた休業取得についての全教員への説明、教員相互の理解
- 区のガイドラインに従った残業時間の管理
- ノー残業デイ及び、会議も部活動もない放課後の月1回設定

**全ての教育活動において「組織目標と個々の教職員の職務目標との一致」による教育効果の最大化を図る。**

以上